

会社概要

名称 株式会社貴藤
所在地 本社
 東京都昭島市拝島町3-1-3 042-545-6027
 立川工場
 東京都立川市西砂町5-69-6 042-531-8109
 昭島工場
 東京都昭島市緑町1-3-12 042-569-6047
 羽村工場
 東京都羽村市神明台4-10-8,10-9 042-513-3066
 東京支店
 東京都中央区日本橋室町1-8-10-5F 03-5542-1726
創業 1990年
資本金 5,000万円
従業員 127名
URL <https://www.eco-takafuji.com/>

環境マネジメントシステム:
 ISO14001取得 登録番号JMAQA-E440
 認証サイト/貴藤本社、立川工場、昭島工場、羽村工場
 東京都第三者評価制度:
 「産廃エキスパート」認定(収集運搬部門・中間処理部門)

沿革

1990 11月 東京都昭島市に有限会社貴藤を設立
 2006 5月 東京都立川市に中間処理場開設
 東京都産業廃棄物処分業許可取得
 2007 1月 電子マニフェストシステム導入
 2008 6月 昭島工場が中間処理施設としての許可取得
 2009 12月 羽村市に中間処理施設開設
 2010 2月 東京都第三者評価制度「産廃エキスパート」認定
 2013 10月 代表取締役 池ノ谷新吾 就任
 2017 8月 本社移転(→東京都昭島市拝島町3-1-3)
 2018 5月 東京都産業廃棄物協会より「優良事業所表彰」受賞
 2019 6月 全国産業資源循環連合会より「地方優良事業所表彰」受賞
 2024 2月 羽村工場既存棟と増築棟を合わせた新体制で運用開始
 2024 4月 貴藤ホールディングス(貴藤株式会社)が
 特種東海製紙株式会社の完全子会社となり、
 貴藤も特種東海製紙グループ会社となる

許可認証一覧

産業廃棄物中間処分業:
 東京都
産業廃棄物収集運搬業:
 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、栃木県、群馬県、茨城県、山梨県、
 長野県、静岡県、宮城県、岩手県、山形県、福島県、愛知県、富山県
特別管理産業廃棄物運搬業:
 東京都、神奈川県

アクセス



関連企業一覧

特種東海製紙株式会社 東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング11階	03-5219-1810
新東海製紙株式会社 静岡県島田市向島町4379	0547-36-5151
特種東海マテリアルズ株式会社 静岡県島田市向島町4379	0547-36-1151
新東海ロジスティクス株式会社 静岡県島田市向島町4379	0547-35-6505
静岡ロジスティクス株式会社 静岡県駿東郡長泉町南一色881-1	055-988-1357
株式会社モルディア 静岡県駿東郡長泉町本宿501	055-988-1141
株式会社トライフ 静岡県島田市横井1-1-1	0547-37-6111
特種東海エコロジー株式会社 静岡県富士市厚原167-1	0545-71-1122
株式会社レックス 静岡県島田市横井1-1-2	0547-39-3112
株式会社駿河サービス工業 静岡県御殿場市保土沢231-1	0550-89-5158
トーエィ株式会社 愛知県知多郡東浦町大字藤江字ヤンチャ 28-1	0562-83-3880
有限会社ハヤト 愛知県みよし市三好町八和田山6-188	0561-33-3980
株式会社貴藤 東京都昭島市拝島町3-1-3	042-545-6027
株式会社特種東海フォレスト 静岡県島田市金谷東1-753-1	0547-46-1551
株式会社フジエダロード 静岡県藤枝市宮原779	054-639-0799
十山株式会社 静岡県静岡市葵区田代1301-1	054-260-2245
日本東海インダストリアルペーパーサプライ株式会社 東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ 9階	03-6665-5016
関連施設	
特種東海製紙Pam 静岡県駿東郡長泉町本宿437	055-988-2401



**TOKUSHU
TOKAI
PAPER**
**TECHNOLOGY &
TRUST**
**特種東海製紙グループ
株式会社貴藤**

TECHNOLOGY & TRUST

株式会社貴藤

貴藤は資源循環型社会をサポートし、地球の明日を考えます。

株式会社貴藤は、産業廃棄物処理分野のエキスパートとして、コンサルティングから収集運搬・中間処理までを一貫して担うワンストップ体制で、資源循環を支えています。多品目の産業廃棄物に対応する中間処理や、安定した再資源化を通じて、環境負荷の低減とリサイクル率の向上に取り組んできました。

社会環境が大きく変化する中でも、課題を他人事にせず、自らの責任として捉え、今できる最善を考え続ける姿勢を大切にしています。確かな現場力と改善の積み重ねにより、社会に必要とされ、お客様と信頼関係を築き、社員が誇りを持って働ける企業を目指し、挑戦を続けていきます。



環境方針

産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業を営み環境保全と産業が両立する調和型社会を目指します。

- 環境関連の法律・規制、及び組織が同意した地域との協定及び顧客の要求事項を遵守し、環境目的、目標を定め、環境保全の継続的改善及び汚染の予防に努める。
- 事業活動の内、特に次の事項について重点的に取り組み、環境負荷の低減に取り組む。
 - 廃棄物の分別化を推進し、リユース・リサイクル率の向上。
 - 重機・車両の燃料消費、排気ガス、騒音の低減。

- 環境管理体制の確立。
- 従業員の社内教育を実施すると共に積極的に社外の研修等に参加し、環境技術及び環境意識の向上を図る。
- 環境保全の充実により、社員の環境意識の向上に努め、全従業員に周知し全員参加による環境保全活動の定着化を図る。
- 廃棄物処理委託契約の拡大

産業廃棄物収集運搬業

幅広い品目の産業廃棄物に対応した収集運搬及び積替え保管を行っており、石綿含有産業廃棄物や廃油、特別管理産業廃棄物の収集運搬にも対応しています。車両の運行状況をGPSによりリアルタイムで管理し、安全性と燃費効率を向上。定期的に収集運搬車両の入れ替えを実施し、事故リスクの低減と安定した運行体制を維持しています。収集運搬を効率よく、安全で質の良いサービスを目指すため、産廃業界に特化したAI配車システム「配車頭」を

配車業務に組み込み日々の配車管理を行っています。また、安全への取組として保険会社による安全運転講習会や自動車事故対策機構(ナスパ)による運転適性診断などを行い、安全運転に繋がる活動を行っています。地域との協力体制として、本社所在地である昭島市と「災害時における産業廃棄物処理等に関わる協定」を締結しており、災害時の応急対策業務などの備えをしています。



10tコンテナ車



4tコンテナ車



8tユニック車



3tパワーゲート車



8tコンテナ車



2tコンテナ車



3tユニック車



2tダンプ車

現場のニーズにお応えするため各種車両を揃え、1都15県の許可を取得しています。合計車両台数68台 2026年1月現在

産業廃棄物中間処理業

多品目の産業廃棄物に対応し、切断、圧縮・梱包、破碎といった廃棄物に合わせた処理工程を組み合わせながら、手選別と機械選別・機械処理を駆使した中間処理を行っています。廃プラスチック類や木くず、金属くず、がれき類などを適性に処理し、中間処理後の廃棄物はバイオマス燃料や固形燃料の原料として有効活用させるなど、単なる廃棄にとどまらず、資源としてリサイクル

することで、循環型社会の形成に貢献しています。また、リサイクル率向上を重要な課題と捉え、処理工程の改善と技術の高度化を継続的に推進しています。再生可能エネルギーの活用や、廃石膏ボードの再資源化などの新たなリサイクル手法にも積極的に取り組み、環境負荷の低減と資源の有効活用を両立させた事業運営を行っています。

施設紹介



立川工場

手選別により分別された廃棄物を破碎機・切断機・圧縮梱包機にて処理を行い、リサイクルに向けた資源の安定供給に取り組み、循環型社会の形成と環境負荷の低減に貢献しています。また、建設現場から発生する石綿含有産業廃棄物や廃油についても、当施設にて積替保管をし、適正処理を行っています。

<中間処理内容>

- 切断: 廃プラスチック類/木くず/繊維くず/金属くず
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボード)
- 破碎: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず/がれき類
- 圧縮・梱包: 廃プラスチック類/紙くず/木くず/繊維くず
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず

<積替・保管内容>

汚泥/廃油/動植物性残さ/廃プラスチック類/ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず/がれき類(石綿含有産業廃棄物に限る)



昭島工場

限られた敷地条件を活かした効率的な運営体制のもと、ハウスメーカーによる新築工事に伴い発生する建設系廃材の処理を主軸としています。現場にて分別された廃棄物を受け入れることで、施設内での選別工程を最小限に抑え、コンパクトな動線の中でスムーズかつ高効率なリサイクルを実現しています。

<中間処理内容>

- 切断: 廃プラスチック類/紙くず/木くず/繊維くず/金属くず
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
- 破碎: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず/がれき類



羽村工場

最大規模の工場であり、選別ラインの導入など、自社にはなかった新たな処理スタイルを採用した中核的施設です。新型破碎機及び圧縮梱包機の導入により処理能力を大幅に向上させ、搬入された廃棄物を効率的かつ安定的に処理できる体制を確立。リサイクル工程全体の最適化も進み、リサイクル率の向上を実現しています。受入品目は重量系廃棄物をはじめ、フレコンバックで分別された単品物、解体・改修工事に伴い発生する混合廃棄物まで幅広く対応。既存棟と新工場棟で受入品目を区別することで、各工程の専門性を高め、貴藤全体としての処理効率とリサイクル性能の最大化を目指しています。

<中間処理内容>

- 切断: 廃プラスチック類/紙くず/木くず/繊維くず/金属くず
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
- 破碎: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず/がれき類
廃プラスチック類/紙くず/木くず/繊維くず/ゴムくず/金属くず
- 圧縮・梱包: 廃プラスチック類/紙くず/木くず/繊維くず/ゴムくず
金属くず/ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず

